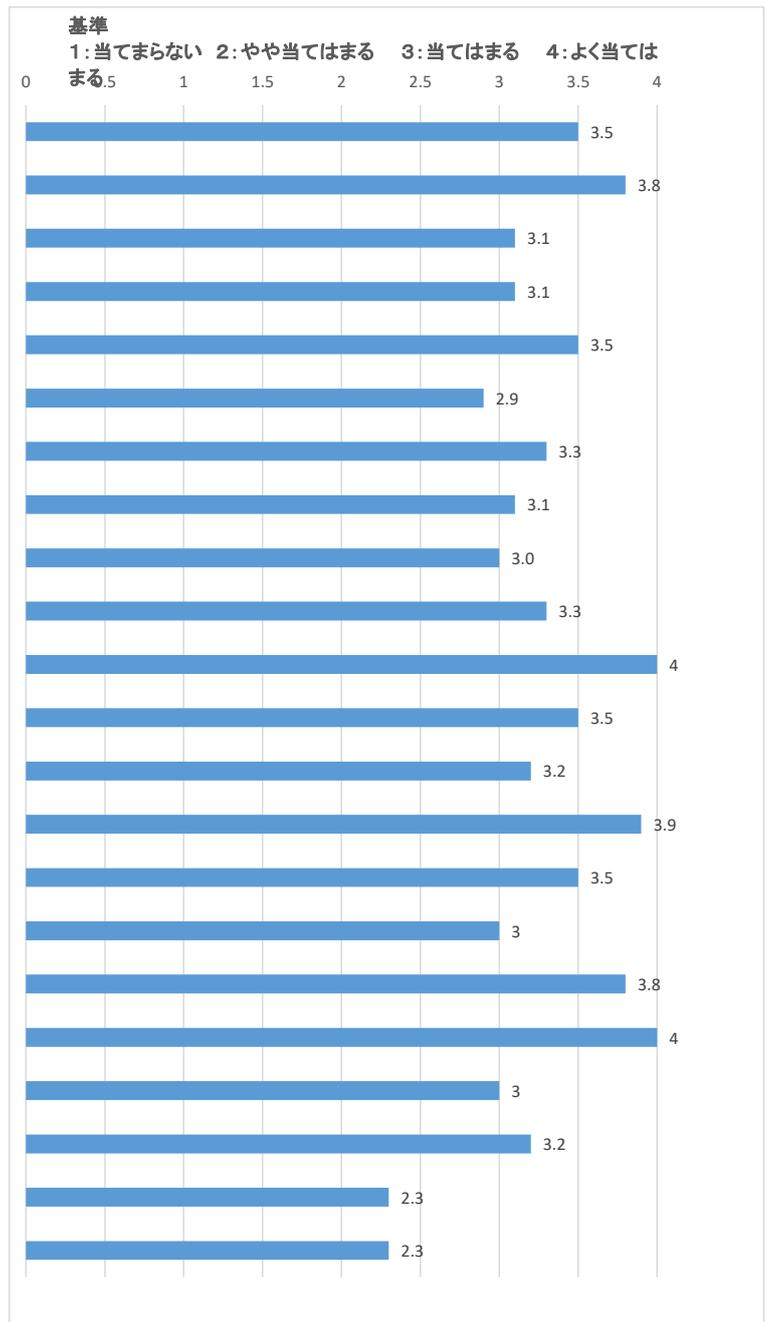


表Ⅲ 令和3年度 武生看護専門学校 自己点検・自己評価の結果

カテゴリー	下位項目	点数
I	(1)教育理念・教育目標	3.5
	(2)教育目標	3.8
II	(1)教育課程編成	3.1
	(2)科目構成	3.1
	(3)教育計画	3.5
	(4)教育課程評価の体系	2.9
	(5)学生の看護実践体験の保障	3.3
III	(1)授業の発展過程	3.1
	(2)目標達成の評価とフィードバック	3.0
IV	(1)(設置者)管理者の意思・指針	3.3
	(2)組織体制	4
	(3)財政基盤	3.5
	(4)施設設備の整備	3.2
	(5)学生生活の支援	3.9
	(6)情報提供	3.5
	(7)本校の運営計画と将来構想	3
	(8)自己点検・自己評価体制	3.8
V	入学	4
VI	卒業・就職・進学	3
VII	(1)地域社会	3.2
	(2)国際交流	2.3
VIII	教員の教育・研究活動の充実	2.3



結果の概要と課題

- * 全体的のほぼ例年通りの結果が得られている。
- * 評価が高い項目としては、IV経営・管理過程の(5)学生生活の支援、V入学である。
- * 評価が低い項目は、VII地域社会・国際交流の(2)国際交流、VIII教員の教育・研究活動の充実であった。
- * 国際交流については、国際協力体験者の講義等も取り入れているが、今後、各領域の中で国際的な視点を取り入れていく必要性が示唆される。
- * 教員の研究活動の充実については、研修受講費用の確保はしているが、新型コロナウイルス感染症拡大による各種研修や学会等の中止・延期、実習施設からの県外外出禁止等の行動の制限があり、受講が困難であった。また、カリキュラム改正に伴う業務量の増加等も影響しており、今後、教員の授業準備や研究活動のための時間確保が課題である。